

令和元年度

8月定例教育委員会

会 議 録

(公 開)

令和元年8月29日

1 開 会 14時00分

教育長から、「議題第17号」「その他⑤」については、県議会に提出する議案等に関するものであり、現時点では未公表であること、「議題第18号」については、人事に関するものであること、「議題第19号」については、個人情報が含まれていること、「その他④」については、公表を予定していない情報を含むものであることから、非公開での審議が適当である旨の提案がなされ、出席者全員で異議なく決定した。

2 前回の会議録の承認

教育長から、7月18日の7月定例教育委員会の公開部分の会議録の承認について諮られ、出席者全員で異議なく承認した。

3 議 事

◎ その他① 平成30年度県立高校卒業生の6月末就職決定状況について

高校教育課長

(資料に沿って説明)

説明は以上です。

教育長

この件に関して、御意見御質問等ございますでしょうか。

島原委員

学校関係者、企業の努力のおかげで少しずつではありますが県内就職率が高くなっていると思います。しかしながら、まだ県内就職率を上げる可能性を秘めていますし、そうしていかなくてはならないと思います。

現場の声を聞くと、人手不足が非常に大きいですし、求人が多くきている中で、まだ県内企業と県外企業の熱心さに差があるように感じます。県内企業は非常にまじめ、ちゃんと7月1日を守って学校に通知するのに対して、県外企業さんは学校に何度も何度も足を運ぶという実態もあって、ルールを破るという形ではないですけど、ただ日常的に企業関係者が学校に足を運んで信頼関係をつくって、もっと県内就職率を上げるための工夫が必要だと思いますので、それをお伝えしておきます。

高校教育課長

大変ありがたいお話だと思います。県内企業からの求人票の提出というのが、御承知のとおり以前は遅かったんですが、最近では早くなってきております。また、県内企業の方々に、学校のほうが8月上旬に校内選考を実施することが非常に周知されてきておまして、大体7月28日、下旬までにはほとんどの求人票が出そろおうという状況にあります。今委員からもありましたように、さらに県内企業との連携を図って、学校と企業が密な連携を図れるように努力していきたいと思っております。

島原委員

これは宮崎第一さんがアナウンス、ビデオメッセージ部門で参加されてかなりの戦力になったように思いますけど、優秀な指導者の方がいらっしゃるのですか。

高校教育課長

先日報告会がありまして、小学生の頃から御指導をされていたということでした。特にこれまでは特別なことで、放送関係で、ということはなかったようです。

教育長

私も報告会で聞いたんですけど、第一高校の中倉さんは将来アナウンサーになればいいなということでした。

木村委員

高文祭は来年が宮崎ですか。

高校教育課

来年は高知です。

木村委員

来年もまた同じような成績が収められたらいいですね。

教育長

よろしいですか。

では、この件についてはこれで終わります。

◎ その他③ 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について

義務教育課長

(資料に沿って説明)

説明は以上です。

教育長

この件に関して、御質問御意見等ありませんか。

松田委員

4ページの平均正答数で考えると全国平均よりも小学校は0.2問という形で私としては少ないのかなと考えるんですけども。平均に近いので、このように分析してあって、ほぼ全国平均で頑張っているんじゃないかなと思いますが、問題は6ページの三つの教育事務所間の差が大きいと思います。特に英語につきま

しては中部と南部では約0.8、全国平均よりも県内の三つの教育事務所間の差が気になりますので、そちらの部分在今后もっと差が縮まるようにしていただきたいという点と、2点目として7ページの解答時間、これにつきましては昨年度も算数AとBにつきまして解答時間が不十分ということがありましたので、これに関しましても、県の読解力、思考判断力をつけるために必要な部分でありますので、早急に改善していく必要があるのかなと思います。

義務教育課長

教育事務所別の差につきましては、各教育事務所と現在細かい分析を行っているところであります。詳しい状況を確認しながら、各事務所間の差がないように学校への指導、教育事務所への指導をもっとしていきたいと考えております。2つめの読解力の指導につきましては、ここ数年課題として捉えているところであります。各学校でも読解力に力を入れながら進めているところでありますが、なかなか表に現れていない状況もございますので、さらにここについては重点課題の一つとして取り組んでいきたいと思っております。

島原委員

生活や学習に関する調査のところなんですけど、小学校の将来の夢や目標というところが86.7%、中学になると74.9%、非常に現実的になってきて、分からなくなっているのかもしれないかもしれませんが、実際に勉強する意味、目的などが分からないままなんとなくやっているみたいなのがどうも現場で見受けられるような気がします。実は現在も会社に中学生が2人研修にきているんですが、自分が何をしたいのかははっきりしないまま、なんか将来もしかしたら役に立つかもしれないと思って勉強しているけれど、ということなんですよね。実際に自分たちがやりたいことを明確にしていくということ、今勉強していることが将来やりたいことにつながっているという実感を持たせることが勉強に身が入ってものすごく学力にもつながると思いますので、もっと自分がやりたいことについて話をして、いろいろな経験を通じないと見えないとは思いますが、その中でやりたいことをしっかりと見つけていくということが必要なんじゃないかなと思います。もう一つ、新聞を読んでいますかというところが非常に低い。一つは、大人もかなり新聞を読まなくなっている。情報の入手先がネットになったりして、ニュースでさえもネットで見るようになってきている、これに関してどう考えているのか、対策はあるのか伺いたいと思っております。

義務教育課長

1点目の夢や希望のお話ですが、分析の中で、何のために勉強するのかというところをもう少し具体的にしていくために、キャリア教育との関連を十分持たせながら学力向上に取り組まなければならないのではないかなという分析もしております。来年度、今年度の後半に向けて、その点についても学校に指導していきたいというふうに考えています。2点目の、新聞を読んでいるか、という状況についてでございますが、これについても小中学校とも低い状況があって、一昨年、各市町村の方を回って、新聞の購読依頼というのをしているのですが、なかなか伸びていない部分がありますので、来月市町村を回る機会を設けましたので、そ

の時に新聞の購読についても学校配備状況等、協力依頼を図っていきたいと考えております。

松山委員

8ページの県立中学校の結果概要について、毎年高い成績ですばらしいと思うんですけども、県立学校だけの正答数、正答率を出される目的と、その後どのように利用されているのかお聞きしたいです。

義務教育課長

県立中学校については直接県のほうが情報等を国の方から受けまして分析を詳しくしているという状況であります。公立の小中学校は市町村のほうで詳しく分析をしていく、ということがございますので、県立中学校は県教委のほうで分析をしたところでありまして。この結果については各3校にもお伝えして、支援訪問等を行う際にも、詳しく、さらに伸びがみられるような指導をということで考えております。

松山委員

市町村の学校との連携というか、結果を踏まえての指導に使われるということもあるのですか。

義務教育課長

今申し上げましたのは今回の概要については県立中学校については先にやっておりますが、このあと公立中学校の市町村立についても詳しい分析をしていますが、市町村に先に全ての情報が入ってきておりますので、県立学校のほうだけは県教委が先にやるということでありまして。

木村委員

読解力が必要というのは分かるんですけども、9年間ボランティアで絵本の読み聞かせをやっているんですが、学校によって図書室にある本の数が全然違うのはなんでなんだろうといつも思っていて、生徒の数なのか、予算なのか、どうして違いがでるのですか。たくさんあったほうがいいのになと思うんですが。

教育長

市町村予算ですよ。要するに市町村の予算配分かなとは思いますが。

義務教育課長

学校の規模に応じて、学校に配備すべき本の数が決まっていますので、その充足率について各市町村が充足率を上げるために予算を計上して、全県的には少しずつ本の冊数というのは上がっているんですが、なかなか古い本を廃棄しないといけない部分もありまして、学校によって差が見られている状況にあります。

木村委員

本当に何十年も前の本があったりして、学校で休み時間とかに1番見られたり

もするものなので、できたらそこは子どもたちにたくさん読んでもらえるように整備してほしいと思います。

生涯学習課長

学校でなかなか予算が限られているという中で、市町村の図書館と連携して、まとめて要望をあげて、まとめて借りに行ったりとか、中には持ってきてくれたりとか、そのような連携もしながら、そういったシステムをとっているところもあります。

教育長

特に算数、数学がやっぱり低いのかなという傾向があります。特に小学校の場合はずっとマイナスな数値しかないというところですけど。小学校の算数は特に力を入れていかなくてはいけないのかなと思います。

それから、7ページ、子どもたちが取り組む項目がそれぞれ、だいぶ改善はなされているんですが、先ほど島原委員からありましたとおり、新聞については悪くなってきている。来年国文祭を控えているので、ちょっと認識しながら子どもたちのほうへも言っていかななくてはならないと思います。しっかり頑張らなければいけないということで、お願いしておきます。

教育長

よろしいですか。

では、この件についてはこれで終わります。

◎ その他⑥ 令和元年度全国中学校体育大会の結果について

スポーツ振興課長

(資料に沿って説明)

説明は以上です。

教育長

この件について、御意見御質問があったらお願いします。

サッカーがよかったんですね。ベスト4に2チーム残って。

教育長

よろしいですか。

では、この件についてはこれで終わります。

◎ その他⑦ 令和元年度全国高等学校総合体育大会・第101回全国高等学校野球選手権大会の結果について

スポーツ振興課長

(資料に沿って説明)

説明は以上です。

教育長

この件について、御質問御意見を申し上げます。

松田委員

かなりがんばっているんですね。ベスト8入賞数が43、これは日頃頑張っている数字だと思ってよろしいんでしょう。

スポーツ振興課長

トータルで見ると43という数字で、各学校大変良く頑張ってくださいました。国体の視点で言えば、少林寺拳法、これは国体の種目にはない競技になります。高体連種目は31競技あり一生懸命取り組んでいただいているんですが、更なる強化に向けて、成年の実業団等もないということで少年競技が鍵になると思っております。昨年度は対策本部を立ち上げまして、その中で推進体制の整備でありますとか、選手の発掘育成、あるいは指導体制の整備、環境条件の整備、この4本柱で、7年後の本県開催に向けて、天皇杯獲得にむけて計画的に強化を進めていきたいと思っております。

松田委員

夏期休業中に学校訪問させていただいたときに、高校の先生方が学校にいないという状況があったものですから、いかに南部九州国体で夏期休業中にも関わらず先生方も頑張っていたのかなと思ひまして。役員として、休みが取れたのかなとも思ひましたけど、先生方によく頑張ったということ伝えていただければと思ひます。

松山委員

中学生も高校生も弓道が非常にいい成績を収められているなど思ったんですが、指導の強化とかされているのですか。

スポーツ振興課長

弓道だけということではありませんけれども、全競技、競技力強化指定校等の指定をして、頑張らせていただいているところであります。弓道に関しては、全国総体は都城で開催されたということで、地元で非常に力を発揮したと思ひます。メンタル面の強い競技になりますから、そういう意味では地元の声援をプラスにしてのっていった、勝ち上がっていったというふうに思ひます。中学生に関しても全体的な評価として非常に頑張ってくれたと感じております。

島原委員

実は私は大学4年間少林寺拳法をやっていたんですが、団体演舞で全国優勝と

というのは非常に素晴らしい。個人競技だったら非常に素晴らしい選手がいれば、上にあがれると思うんですが、団体で全国優勝というのは素晴らしい。多分相当指導者の方も頑張ったんじゃないかなと思うんですけども。全員が全て動きを合わせて、みんなが技をきれいにかけないといけないし、それがきちっと決まらないといけないし、なかなか難しいんですがそれで全国1位を獲ったというのは素晴らしいなと思います。スポーツとして優秀な成績を収めるために非常に頑張ってくれたと思いますけど、少林寺拳法は元々はお坊さんの護身術でありますので、人材育成にも非常に力を入れる競技なんです。そういう意味では宮崎から団体優勝が出たというのは、非常に喜ばしく思っていますので、ぜひ評価を伝えていただきたいですし、素晴らしいことなんだよということを皆さんに御理解いただけたらと思います。

スポーツ振興課長

少林寺拳法につきましては非常に熱心な先生がいらっしゃるしまして、数十年前から熱心に少林寺拳法の普及に尽力していただいて、競技人口を広げていかれました。今や都城工業や延岡工業であったり、都城高校であったり、3校が切磋琢磨している状況で、都城西高の選手が個人でも入賞しておりまして、宮崎インターハイで努力が実を結んで、花開いたかなと思います。今年の南部九州インターハイの唯一の優勝ということで、県民の皆様にも非常に感激していただいたのかなと思います。先生本人も非常に感激しておりました。

教育長

国体を見据えると、少年の部は今の小学生から指導していかなくてはならない、今の高校生は成年のほうで、経済界ともまた考えていかなくちゃいけない課題もあります。国体での総合優勝というのは非常に厳しいとは思っていますので、お金もかかるし、教育委員会をあげて頑張っていきたいと思います。高校野球は、知事が全国優勝といっているもので、これからも頑張っていかななくてはならないのではないのでしょうか。

島原委員

富島高校は県立高校として非常によく頑張っている。他県から優秀な選手を引っ張ってきて、という話ではないので、素晴らしいと思います。地元からもっと支えていければと思います。

教育長

よろしいですか。

では、この件についてはこれで終わります。

◎ その他⑧ 令和元年度全国高等学校総合体育大会について

高校総体推進課長

(資料に沿って説明)
説明は以上です。

教育長

この件に関して、御質問御意見等お願いします。

今回は南部九州4県で開催されて、開会式は鹿児島でした。次回南部九州に回ってきた時は宮崎県が幹事県ということで、何年後でしたっけ。

高校総体推進課長

11年後になります。

教育長

私も鹿児島県に開会式を見に行っただけですけども、大変ですね。セレモニーでマ스ゲームのようなもの、ダンスと歌と、あれを練習するのは相当な時間と人数が発生するので、300人か400人くらいですね。11年後開催される時は1年前か2年前から準備するんだろうけど、なかなか大変だろうなど。その時それだけのものをするかというのは時代の移り変わりはありますけど、現状のあれでいくと、鹿児島県かなり大変だったと思います。あれをやるとすれば、11年後は大変かなと思いました。

松田委員

県の高校総体の開会式、あれでもすごいと思いますし、県の総合文化祭も毎年すごいものがあります。県の高校教育のすごさだなと思います。今回もボランティアで3000人の方が活躍されたということですけど、県内高校の総合力ってすごいなと思いました。

島原委員

私も国体視察に行かせていただいたときに感じたのは、地域でいかに地域の皆さんに応援されているかによって、盛り上がりが違うなと思うんですよね。長崎に行ったときには、ソフトボールを見させていただいたんですけども、長崎の町ごとにどこの県を応援するというのが決まっていて、地元の方が双方に分かれて応援をしようということがあって、すごく盛り上げてくれましたし、非常に暖かいと感じた。そういった地域が参加して全県的に盛り上げるというのは、非常に大事だなと思いました。日向市駅にも掲示がしてありました。

高校総体推進課長

高校総体では、あまり地域の方々が関わるということはないのですが、登山競技の会場地でありました高千穂町の五ヶ所地区におきましては、選手達が朝5時に登山口を出発したのですけれども、その際に旗を振って送り出してくださったり、また、冷や汁や冷やしキュウリを差し入れて提供していただくというようなこともあり、選手たちに大変喜ばれたところでもあります。高千穂町においては、このような心温まるおもてなしがありました。

教育長

よろしいですか。

では、この件についてはこれで終わります。

◎ 次回会議の日程等について

教育長

それでは、次回定例会は、9月25日、水曜日、14時からとなっておりますのでよろしくをお願いします。

これより後、会議冒頭の決議により非公開とします。

傍聴者の方は、御退席をお願いします。

暫時休憩とします。